

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時】 実施予定施策	施策の実施状況(H25d~H27d)	施策の実施状況の分析・評価(H25d~H27d)	今後の取組(H28d以降)	実施機関
4-1	いなげの浜 ～ 幕張の浜周辺	①快適に水遊びができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海 家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海					
		②「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海 「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海					
		③親しみやすい	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	千葉市中央処理区における、吐き口のスクリーン設置、貯留・浸透施設等、合流式下水道の改善を図る。	・千葉市中央処理区において、雨水滞水池を建設(整備)したとともに、夾雑物の除去施設を8箇所設置した。(平成25年度末で合流式下水道緊急改善事業が完了した。) ・以下の浸透施設を設置した。 浸透樹:126個、浸透トレンチ:747m、浸透マンホール:8基	・平成26年度に千葉市合流式下水道緊急改善計画の事後評価を実施した。評価の結果、各施策内容の目標(排出する汚濁負荷量を分流式下水道以下、越流回数を半減および夾雑物の流出防止)を達成している。 ・貯留浸透施設については、面源からの汚濁負荷削減に寄与している。	・中央浄化センターの再構築に伴い、高度処理施設を新設するとともに、既存の水処理施設の有効利用による雨水滞水池の整備により、さらに公共用水域の水質向上に努める。 ・貯留浸透施設については、面源からの汚濁負荷削減に寄与していることから整備を推進する。	千葉市建設局
		④美しい	赤潮や青潮が発生しない海 背後の都市景観と調和した美しい海	千葉市南部浄化センター及び中央浄化センターにおける高度処理設備を導入する。 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進する。	千葉市南部浄化センターにおいて処理能力約2.8万m ³ /日の高度処理施設整備に向けて、機械設備工事に着工した(平成29年度より供用開始予定)。本整備により、南部浄化センターにおける高度処理施設能力は約18.8万m ³ /日となる(現状約16万m ³ /日)。 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進した。	千葉市南部浄化センターにおいては、現有施設能力、約23万m ³ /日を有しており、そのうち高度処理施設能力は約70%と増加している(C系3~4系列の供用開始予定は平成29年度)。また、A系5~8系列においては、段階的処理の導入を検討したが、計画汚水量に対する水処理能力が減少されることに加え、対象の主要設備の更新時期が目前であることから、更新時期に併せて高度処理化を図る方針とした。 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等を推進している。	南部浄化センターおよび中央浄化センターにおいて、引き続き高度処理化に向けた取組を推進する。	千葉市建設局 千葉市環境局
		⑤首都圏にふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海 東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海					
4-2	三番瀬周辺	①快適に水遊びができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海 家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海					
		②「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海 「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海		・三番瀬自然環境調査事業として、底生生物及び海域環境調査、鳥類個体数調査を実施した(平成26年度)。 ・稚魚生息状況調査(月1回、年12回)及び鳥類個体数調査(月2回、年24回)を実施した(平成27年度)。	・三番瀬及びその周辺において、24回(月2回)の鳥類個体数調査を実施した。 ・三番瀬海域内8地点において、押し網により12回(月1回)の稚魚生息状況の調査を実施した。	平成23年度から平成28年度の三番瀬自然環境調査結果から、三番瀬自然環境総合解析を実施するとともに、今後も、生物とそれを取り巻く環境に関して、地形・環境条件・生物の中から、必要な調査を実施していく。	千葉県環境生活部
		③親しみやすい	海辺に行きやすく、身近で安心できる海 子どもからお年寄りまで、いつでも楽しみ、驚きや感動がある海	県ホームページの更新や、県民だより等を活用した情報発信を行う。 写真展等を実施し、三番瀬の魅力について広報活動を行う。 三番瀬の標語、シンボルマーク及びマスコットキャラクターについて、県のホームページ上で情報・素材の提供、県庁名刺作成システムへの登録・普及等を行う。	ホームページ等による情報発信などの広報活動を実施した。 エコメッセちばで写真を展示し、広報活動を実施した。 三番瀬の標語、シンボルマーク及びマスコットキャラクターについて、県のホームページ上で情報・素材を提供した。	広報活動を通じて三番瀬の魅力を発信し、三番瀬と触れ合う機会を提供した。 広報活動を通じて三番瀬の魅力を発信し、三番瀬と触れ合う機会を提供した。 広報活動を通じて三番瀬の魅力を発信し、三番瀬と触れ合う機会を提供した。	引き続きホームページ等による情報発信などの広報活動を実施する。 引き続きエコメッセちばで写真を展示し、広報活動を実施する。 引き続き三番瀬の標語、シンボルマーク及びマスコットキャラクターについて、県のホームページ上で情報・素材を提供する。	千葉県環境生活部
		④美しい	赤潮や青潮が発生しない海 背後の都市景観と調和した美しい海	江戸川左岸流域下水道の幹線管渠の整備、処理場施設を整備する。 当地区に流入する河川(江戸川)において、今後も継続して河川の浄化対策(直接浄化の稼働)に取り組む。また、湿地等の自然再生を行う。	平成27年度に江戸川左岸流域下水道市川幹線が供用開始した。 ・当地区に流入する河川(江戸川)において、河川の直接浄化施設による水質浄化を継続して実施した。 ・江戸川支川利根運河において、浸透による河川浄化対策を実施した。 ・環境基準を大幅に上まわっている利根運河の水環境改善策として、利根川から利根運河へ導水するポンプの設置(0.5m ³ /s)を実施した。 ・江戸川1箇所において自然再生を実施した(平成27年度)。	江戸川左岸流域下水道市川幹線の供用開始等により、下水道の普及が進んでいる。 河川浄化や浸透、干潟再生を実施し、東京湾に流入する有機汚濁および窒素・りん等の削減に寄与している。	・江戸川左岸流域下水道松戸幹線の整備を進める。 ・江戸川左岸流域下水道江戸川第一終末処理場施設の整備を進める。 ・河川の浄化対策を引き続き実施する。 ・実施後の環境変化についてモニタリングを実施する。	千葉県県土整備部 国土交通省水管理・国土保全局(関東地方整備局河川部)
		⑤首都圏にふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海 東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海	NPOなどによる三番瀬の保全と再生を目的に開催される活動について後援等を行う。	市民活動団体等が実施する三番瀬関連イベントに対する後援を実施した。	市民活動団体等が実施する三番瀬関連イベントを後援し、三番瀬での東京湾再生活動を支援した。	引き続き市民活動団体等が実施する三番瀬関連イベントに対する後援を実施する。	千葉県環境生活部

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時 実施予定施策】	施策の実施状況(H25d~H27d)	施策の実施状況の分析・評価(H25d~H27d)	今後の取組(H28d以降)	実施機関	
4-3	葛西海浜公園周辺	①快適に水遊びができる	探足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海						
			家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海		・葛西海浜公園西なぎさにおいて、市民団体が海水浴体験イベントを実施し、約1万5千人が参加した(平成26年度)。 ・葛西海浜公園西なぎさにおいて、東京都と市民団体等が連携して海水浴社会実験を実施し、約3万8千人が参加した(平成27年度)。	多くの人が海水浴を楽しむことができた。	引き続き、海水浴体験イベントの実施を予定している。	東京都港湾局	
		②「江戸前」をはじめ多くの生物が息をする	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海		水生生物調査(鳥類、稚魚)を実施した(平成26、27年度)。 干潟生き物観察会・野鳥観察会・コアシサシ子育て環境づくりを定期的実施した。	継続して調査を実施している。調査結果は、速報を含め、ホームページで公表している。	引き続き継続して実施する。	東京都環境局	
			「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海		葛西臨海公園西なぎさにおいて、市民団体等によりのりとわかめの育成及びのりすき体験・試食イベントが実施された。	多くの人が江戸前の味であるのりわかめについて理解を深めることができた。	引き続き、のりとわかめの育成及びのりすき体験・試食イベントの実施が予定されている。	東京都港湾局	
			海辺に行きやすく、身近で安心できる海						
		③親しみやすい	子どもからお年寄りまで、いつでも楽しみ、驚きや感動がある海		・葛西海浜公園西なぎさにおいて、市民団体が海水浴体験イベントを実施し、約1万5千人が参加した(平成26年度)。 ・葛西海浜公園西なぎさにおいて、東京都と市民団体等が連携して海水浴社会実験を実施し、約3万8千人が参加した(平成27年度)。	多くの人が海水浴を楽しむことができた。	引き続き、海水浴体験イベントの実施を予定している。	東京都港湾局	
			赤潮や青潮が発生しない海	荒川水循環センター、新河岸川水循環センター、中川水循環センター等における高度処理を実施する。	・荒川、中川水循環センターにおいて高度処理を実施。新河岸川、中川水循環センターにおいて段階的の高度処理を実証実験を経て事業計画に位置付けた。 ・元荒川、古利根川水循環センターにおいて段階的の高度処理実証実験を開始した。 葛西水再生センター等に準高度処理を導入した。	高度処理、段階的の高度処理を導入した処理場の放流水質は向上している。 葛西水再生センターへの準高度処理導入により早期の水質改善に寄与している。	・元荒川、古利根川水循環センターにおいて段階的の高度処理として事業計画を変更する予定。 ・荒川水循環センターにおいて段階的の高度処理実証実験を完了予定。 ・砂町、葛西の両水再生センターに準高度処理の導入を進める。 ・葛西水再生センターに新たな高度処理の導入を進める。	埼玉県下水道局 東京都下水道局	
		④美しい	背後の都市景観と調和した美しい海	当地区に流入する河川(綾瀬川)において、今後も継続して河川の浄化対策(直接浄化の稼働)に取り組む。また、荒川において干潟等の自然再生を行う。	・当地区に流入する河川(綾瀬川)において、河川の直接浄化施設による水質浄化を継続して実施した。 江戸川支川利根運河において、利根川からの導水による河川浄化対策を実施した。 ・荒川において自然再生(H26:1箇所、H27:1箇所)を実施した。	河川浄化や自然再生を実施し、東京湾に流入する有機汚濁および窒素・りん等の削減に寄与している。	・河川の浄化対策、自然再生を引き続き実施する。 ・実施後の環境変化についてモニタリングを実施する。	国土交通省水管理・国土保全局(国土交通省関東地方整備局河川部)	
			最先端の科学的知見が充実した賢い海						
		⑤首都圏にふさわしい	東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海						
4-4	お台場周辺	①快適に水遊びができる	探足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海	三河島水再生センターの一部施設に段階的の高度処理施設を整備する。			三河島水再生センターの一部施設に準高度処理の導入を進める。	東京都下水道局	
			家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海	芝浦水再生センターに貯留施設を増設するとともに、高速ろ過施設を導入し、雨天時の簡易放流水質の向上を図る。	芝浦水再生センターに貯留施設を増設(76,000m ³)した。	芝浦水再生センターに貯留施設を予定通り増設し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献した。	区部で将来目標360万m ³ に向けて貯留施設の整備を進める。		
		②「江戸前」をはじめ多くの生物が息をする	多様な生物が生息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海		水生生物調査(鳥類、稚魚)を実施した(平成26、27年度)。	継続して調査を実施している。調査結果は、速報を含め、ホームページで公表している。	引き続き継続して実施する。	東京都環境局	
			「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海						
			海辺に行きやすく、身近で安心できる海	芝浦水再生センターに貯留施設を増設するとともに、高速ろ過施設を導入し、雨天時の簡易放流水質の向上を図る。	芝浦水再生センターに貯留施設を増設(76,000m ³)した。	芝浦水再生センターに貯留施設を予定通り増設し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献した。	区部で将来目標360万m ³ に向けて貯留施設の整備を進める。	東京都下水道局	
		③親しみやすい	子どもからお年寄りまで、いつでも楽しみ、驚きや感動がある海		ボランティアによる海浜清掃を開催した。 平成25年度:1,416人参加、0.7tのゴミを回収 平成26年度:1,608人参加、0.6tのゴミを回収 平成27年度:1,669人参加、0.6tのゴミを回収	多くの参加者のもと清掃活動が行われ、親水性の向上、水辺環境の改善が図られた。	引き続き、海浜清掃イベントの開催を予定している。	東京都港湾局	
			海辺に行きやすく、身近で安心できる海	海浜の清掃活動を推進する。					
			子どもからお年寄りまで、いつでも楽しみ、驚きや感動がある海		駅伝、ビーチテニス、シクロクロスなど海辺を活用したイベントを実施した(平成25~27年度)。 一般の方を対象としたドラゴンボート大会、レガッタ、Eポート防災交流大会を実施した(平成25~27年度)。 海の安全を祈願して紙袋にロウソクの灯りを灯し、おだいばビーチに光のページェントを織りなす海の灯まつりを実施した(平成25~27年度)。	多くの人が海に親しむことができた。 多くの人が海に親しむことができた。 多くの人が海辺で楽しむことができた。	引き続き、同イベントの開催を予定している。 引き続き、同イベントの開催を予定している。 引き続き、同イベントの開催を予定している。	東京都港湾局	
			海辺に行きやすく、身近で安心できる海		お台場海浜公園にて、港区芝浦港南地区総合支所主催の海水浴体験イベントを実施した。 平成26年度:約400人参加 平成27年度:約300人参加	多くの人が海水浴を楽しむことができた。	引き続き、同イベントの開催を予定している。		
		④美しい	赤潮や青潮が発生しない海	三河島水再生センターの一部施設に段階的の高度処理施設を整備する。 芝浦水再生センターに貯留施設を増設するとともに、高速ろ過施設を導入し、雨天時の簡易放流水質の向上を図る。	新河岸水再生センターに準高度処理を導入した。 芝浦水再生センターに貯留施設を増設(76,000m ³)した。 隅田川流域において、浚渫を実施した。	新河岸水再生センターへの準高度処理導入により早期の水質改善に寄与している。 芝浦水再生センターに貯留施設を予定通り増設し、雨天時の簡易放流水質の向上に貢献した。 隅田川流域においては、浚渫により、汚濁負荷量の削減に寄与している。	中野、新河岸の両水再生センターに準高度処理の導入を進める。 区部で将来目標360万m ³ に向けて貯留施設の整備を進める。 隅田川流域においては、今後も計画的・継続的に浚渫を実施する。	東京都下水道局 東京都建設局	
背後の都市景観と調和した美しい海			荒川、新河岸川水循環センター等において高度処理を実施。新河岸川水循環センターにおいて段階的の高度処理を実証実験を経て事業計画に位置付けた。 レインボーブリッジスペシャルライトアップ、イルミネーションアイランドお台場、お台場レインボー花火を実施した(平成26~平成27年度)。	高度処理、段階的の高度処理を導入した処理場の放流水質は向上している。 多くの人が海辺で楽しむことができた。	引き続き、同イベントの開催を予定している。	埼玉県下水道局			
海辺に行きやすく、身近で安心できる海	海浜の清掃活動を推進する。								
⑤首都圏にふさわしい	東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海		お台場海浜公園内にある「鳥の島」の清掃活動及び自然観察を実施し、124人の参加者により0.58tのゴミを回収した。(平成25~26年度)	イベント等の積極的な開催により、多くの市民がアピールポイントに足を運ぶことで、市民への啓発につながる。また、NPO等が取り組むお台場周辺での東京湾再生活動を支援している。	-	関東地方整備局 港湾空港部			

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時】 実施予定施策	施策の実施状況(H25d~H27d)	施策の実施状況の分析・評価(H25d~H27d)	今後の取組(H28d以降)	実施機関	
4-5	多摩川河口 周辺	①快適に水遊び ができる	裸足で遊べる、いつでも 安全で気持ちよい海						
			家族連れでも気軽に水 遊びを楽しめる海						
		②「江戸前」をは じめ多くの生物 が 生息する	多様な生物が生息し、 豊富な「江戸前」の恵み が得られる海	多摩川河口干潟生物の調査を行う。	多摩川河口干潟において生物調査を実施した。	継続して調査を実施している。	引き続き継続して実施する。	川崎市環境局	
			「江戸前」の味や文化を 世界に発信できる海			底生生物調査を実施した(平成26、27年度)。	継続して調査を実施している。 調査結果は、速報を含め、ホームページで公表し ている。	引き続き継続して実施する。	東京都環境局
		③親しみやすい	海辺に行きやすく、身近 で安心できる海	雨水吐き室におけるスクリーン施設の設置の 検討等の合流式下水道の改善を推進する。	・江川吐口(自然吐き)に合流改善スクリーンを設 置した。また、京町ポンプ場ほか7箇所のポンプ場 スクリーン設備の目幅縮小を実施した。 ・大師河原貯留管の整備を実施している。	・自然吐き5箇所中4箇所についてスクリーンの設 置が完了し、また市内ポンプ場14箇所中13箇所 のスクリーン設備目幅縮小が完了したことで夾雑 物流出防止に寄与している。 ・大師河原貯留管の整備を進め、未処理放流回 数および汚濁負荷の削減の合流式下水道改善目 標達成へ向け進捗している。	・夾雑物流出防止に向けて、上丸子吐口(自然吐 き)に合流改善スクリーンの設置を実施する(平成 29年度)。また、渡田ポンプ場のスクリーン目幅縮 小についてはポンプ場の再構築に合せて実施す る。 ・未処理放流回数等の削減に向けた大師河原貯 留管および六郷遮集管の整備を推進する。	川崎市 上下水道局	
			子どもからお年寄りま で、いつでも楽しみ、驚 きや感動がある海						
		④美しい	赤潮や青潮が発生しな い海	下水道未接続排水の適正処理を推進する。	下水道未接続排水の適正処理の推進として既存 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を 実施した。	毎年、着実に既存単独浄化槽から合併処理浄化 槽への転換を進めている。	下水道未接続排水の適正処理を推進する。	川崎市環境局	
				川崎市等々力水処理センターにおける高度 処理を推進する。	等々力水処理センターにおいては、新たに開発し た高度処理について事業計画を取得し、平成26 年度より高度処理事業を開始した。	等々力水処理センターは、場内整備工事を行い、 高度処理に必要な流量調整池の工事を進め、 高度処理化に向け進捗している。	高度処理化に向けた事業の推進や段階的 高度処理の導入及び汚泥処理施設からの返流水対策の 検討など、東京湾における一層の総量削減に 向け、事業の推進する。	川崎市 上下水道局	
			川崎市入江崎水処理センターにおける高度 処理を推進する。	入江崎水処理センター西系再構築事業により、施 設の高度処理化に向けた事業を推進し、2/2系列 の土木躯体の建設を実施した。	入江崎水処理センターの西系再構築事業(高度 処理)は、平成31年度の供用開始に向けて、整備 を進めており、高度処理化に向け進捗している。	高度処理化に向けた事業の推進や段階的 高度処理の導入及び汚泥処理施設からの返流水対策の 検討など、東京湾における一層の総量削減に 向け、事業の推進する。			
			背後の都市景観と調和 した美しい海	当地区に流入する河川(多摩川)において、 干潟等の自然再生を行う。	森ヶ崎水再生センターに準高度処理を導入した。	森ヶ崎水再生センターへの準高度処理導入により 早期の水質改善に寄与している。	自然再生を実施する。実施後の環境変化につ いてモニタリングを実施する。	国土交通省水管理・国土保全局 (関東地方整備局)	
⑤首都圏に ふさわしい	最先端の科学的知見が 充実した賢い海								
	東京湾岸で活動する 様々な人や企業が、楽 しみながら環境再生に 取り組んでいる海								
4-6	みなとみらい 21周辺	①快適に水遊び ができる	裸足で遊べる、いつでも 安全で気持ちよい海	清掃船による浮遊ゴミ回収を推進する(横浜 港内全域)。	清掃船により浮遊ゴミを回収した。＜主要区域＞ 平成25年度：1,444M/T 平成26年度：1,428M/T 平成27年度：1,876M/T	浮遊ゴミの回収により、景観・水質改善等の向上 に寄与していると考えられる。	清掃船による浮遊ゴミ回収を推進する。	横浜市港湾局	
			家族連れでも気軽に水 遊びを楽しめる海	NPO等による海底ゴミの回収を推進する(山 下公園前)。	ボランティアダイバーにより海底清掃を実施した。 平成25年度：130人参加、1,200kgのゴミを回収 平成26年度：103人参加、1,500kgのゴミを回収 平成27年度：113人参加、800kgのゴミを回収	多くの参加者のもと海底清掃が行われ、親水性の 向上や海洋環境美化に対する意識向上が図られ た。	NPO等による海底ゴミの回収を推進する。		
		②「江戸前」をは じめ多くの生物 が 生息する	多様な生物が生息し、 豊富な「江戸前」の恵み が得られる海		蛇籠の設置、覆砂、アマモの植え付けを行い、実 験場を設置した(平成25年度)。 3月、7月、8月、10月に移植会、観察会等を実施し た(平成26、27年度)。	実施水域において、アマモの発芽や生育、これま で観察されていない生物の生息を確認(着手前14 種。設置後最多35種。延べ84種。)することがで き、多くの生物が生息する水域づくりに寄与して いると考えられる。	引き続き、水環境向上及び生物多様性に関する 取組みを実施する。	横浜市港湾局	
			「江戸前」の味や文化を 世界に発信できる海						
		③親しみやすい	海辺に行きやすく、身近 で安心できる海	雨水滞水池整備、雨水吐改良、遮集管整 備、スクリーン設置による合流式下水道の改 善を推進する。	・雨水吐き改良、スクリーン設置を7か所 で実施した。 ・雨水滞水池(容量88,300m ³)による貯留、放流水 の消毒を実施した。	整備を必要とする雨水吐施設の改良整備率は 81%に増加している。	引き続き合流式下水道緊急改善計画に位置づけ た雨水吐改良、遮集管整備、スクリーン設置及び ろ過施設の整備を実施する (ろ過施設ほみなとみらい21近傍の中部水再生セ ンターで整備を実施する。)	横浜市 環境創造局	
			子どもからお年寄りま で、いつでも楽しみ、驚 きや感動がある海		横浜臨港パークにおいて、夢ワカメ・ワークショ ップを開催した。ワカメの育成、ワークショップや収 穫したワカメを活用した、料理教室を実施した。 H25年度：311人参加、801kg収穫 H26年度：304人参加、818kg収穫 H27年度：335人参加、867kg収穫	毎年度300人以上の子どもたちを含む一般市民が 参加しており、ワカメの育成等を通じて東京湾の 浄化や環境意識の啓発が推進されている。	引き続き、NPO等と連携しながら、東京湾の浄化 や環境意識を啓発する活動の実施を予定してい る。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局	
		④美しい	赤潮や青潮が発生しな い海	神奈川水再生センターの高度処理化を推進 する。	神奈川水再生センターにおいて処理能力 72,200m ³ /日の高度処理(循環式硝化脱窒法)を 導入し、高度処理能力208,200m ³ /日で運転を 実施している。	神奈川水再生センターの現有能力(407,800m ³ / 日)に対する高度処理施設の能力の割合は51%に 増加している。	神奈川水再生センターにおいて、処理設備の更 新に合わせて高度処理化を推進する。	横浜市 環境創造局	
背後の都市景観と調和 した美しい海			横浜臨港パークにおいて、夢ワカメ・ワークショ ップを開催した。ワカメの育成、ワークショップや収 穫したワカメを活用した、料理教室を実施した。 H25年度：311人参加、801kg収穫 H26年度：304人参加、818kg収穫 H27年度：335人参加、867kg収穫	毎年度300人以上の子どもたちを含む一般市民が 参加しており、ワカメの育成等を通じて東京湾の 浄化や環境意識の啓発が推進されている。	引き続き、NPO等と連携しながら、東京湾の浄化 や環境意識を啓発する活動の実施を予定してい る。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局			
⑤首都圏に ふさわしい	最先端の科学的知見が 充実した賢い海		山下公園前の海域において、再生資材による浅 場を造成し、生物生息環境の改善と水質浄化の 向上を検討した(平成26、27年度)。	・実施後直ぐに魚類の増集が見られた上、時間の 経過と共に生物種類数の増加がみられた。 ・二枚貝やホヤ等の増加による水質浄化効果が 期待できる。	平成29年度末まで検討を継続する。	横浜市 環境創造局			
	東京湾岸で活動する 様々な人や企業が、楽 しみながら環境再生に 取り組んでいる海	ワカメの育成による一般市民型の海域浄化 活動を推進する。	横浜臨港パークにおいて、夢ワカメ・ワークショ ップを開催した。ワカメの育成、ワークショップや収 穫したワカメを活用した、料理教室を実施した。 H25年度：311人参加、801kg収穫 H26年度：304人参加、818kg収穫 H27年度：335人参加、867kg収穫	毎年度300人以上の子どもたちを含む一般市民が 参加しており、ワカメの育成等を通じて東京湾の 浄化や環境意識の啓発が推進されている。	引き続き、NPO等と連携しながら、東京湾の浄化 や環境意識を啓発する活動の実施を予定してい る。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局			

(別表2) アピールポイントにおける施策の実施状況

施策番号	アピールポイント	目標要素	小目標	【東京湾再生のための行動計画(第二期)策定時】 実施予定施策	施策の実施状況(H25d~H27d)	施策の実施状況の分析・評価(H25d~H27d)	今後の取組(H28d以降)	実施機関		
4-7	海の公園・ 八景島周辺	①快適に水遊びができる	裸足で遊べる、いつでも安全で気持ちよい海	清掃船による浮遊ゴミ回収を推進する(横浜港内全域)。	清掃船により浮遊ゴミを回収した。<金沢区域> 平成25年度:274M/T 平成26年度:278M/T 平成27年度:326M/T	浮遊ゴミを回収することにより、景観・水質改善等の向上に寄与していると考える。	清掃船による浮遊ゴミ回収を推進する。	横浜市港湾局		
			家族連れでも気軽に水遊びを楽しめる海							
		②「江戸前」をはじめ多くの生物が息づく	多様な生物が息し、豊富な「江戸前」の恵みが得られる海							
			「江戸前」の味や文化を世界に発信できる海							
		③親しみやすい	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	雨水吐改良、遮集管整備、スクリーン設置による合流式下水道の改善を推進する。	・雨水吐き改良、スクリーン設置を6か所で実施した。 ・雨水滞水池(容量41,600m ³)による貯留、放流水の消毒を実施した。	整備を必要とする雨水吐施設の改良整備率は100%に増加している(スクリーン設置は88%)。	引き続き合流式下水道緊急改善計画に位置づけた雨水吐改良、遮集管整備、スクリーン設置を実施する。	横浜市環境創造局		
			子どもからお年寄りまで、いつでも楽しめ、驚きや感動がある海							
		④美しい	赤潮や青潮が発生しない海	金沢水再生センターの高度処理化を推進する。	金沢水再生センターにおいて処理能力74,400m ³ /日の高度処理(嫌気無酸素好気法)を導入し、高度処理能力146,300m ³ /日で運転を実施している。	金沢水再生センターの現有能力(264,100m ³ /日)に対する高度処理施設の能力の割合は55%に増加している。	金沢水再生センターにおいて、処理設備の更新に合わせて高度処理化を推進する。	横浜市環境創造局		
			背後の都市景観と調和した美しい海							
		⑤首都圏にふさわしい	最先端の科学的知見が充実した賢い海							
			東京湾岸で活動する様々な人や企業が、楽しみながら環境再生に取り組んでいる海		UMIプロジェクトに参画する企業がNPO等多様な主体と連携・協働して再生されたアマモ場の育成を実施した。	アマモ群落の分布範囲が広がりを見せており、数年にわたる移植・播種の成果が現れている。	引き続き、UMIプロジェクトを展開するとともに、新たな実施場所の検討を行う。	関東地方整備局 港湾空港部 横浜市港湾局		